



# プレイリーダーから

近頃は、暑い日も減ってきて、過ごしやすい季節になってきましたね。うさぎ山では、葉やどんぐりが沢山落ちていて、秋を感じます。今回は、どんぐりのことについて書いていきたいと思います。

プレイリーダーになってから、どんぐりの種類の多さに驚いたのと、どんぐりをケーキやクッキーの中に入れて食べていることを聞いて驚きました。自分もどんぐりを食べてみましたが、苦手な味でした（笑）。食べるだけでなく、人に当てたり、コマにするなどして遊んでいます。投げたどんぐりが当たると痛いのですが、石や枝に比べると痛みは少ないので、石や枝を投げるよりもいいと思います。夢中になると厳しいとは思いますが、顔には当てないようにして、遊んでね。

常連の子たちは、どんぐりを当てられないため、痛みを和らげるために様々な方法を生み出しています。その方法をいくつか紹介したいと思います。

1つ目は、布を持って倉庫の上に登って、上の手すりのな所にかけて身を守る方法。布を上を持っていったので、最初は何だろうと思っていましたが、盾にしたので、そういうことかと納得しました。布を盾にするだけで、全然当てられない。痛みを軽減できるようです（子どもたちいわく）。いい発想力だなと思いました。倉庫内は基本的に入れませんが、子どもたちが自由に使えるものは、外倉庫のハウス側に入っているので、自分たちで使いたい物を使用して遊んでいたりと、どう使うか考えている姿を見れるのがいいですよ。お願いとして、使ったら戻して欲しいのと、遠くに持っていくのはやめて欲しいです。なくなってしまうと、遊びたい子が遊べなくなってしまうので。

2つ目は、ズボンを2枚履いてきた子。その子は、長ズボンの上から半ズボンを履いていた。いつもは、長ズボン1枚しか履いてこないのに、気になって声をかけた。「どんぐり当たると痛いから、少しでも痛くならないように履いてるの。」と言っていた。痛みを和らげるために履いてくるなんて、面白いなと思った。自分では思いつかない発想を子どもたちはもっていて、それを大人に教えてくれる。すごくいいですね。終わってから「今日どうだった？」と聞くと「前よりは痛くなかったね」と言っていました。

どんぐりだけで、多くの種類が存在していて、多くの遊びができていいですね。先日、クヌギのどんぐりを持ってきてくれた人がいたので、子ども達と一緒に穴を掘って埋めてみました。プレイパーク内には、なかったと思うので、何年後かにクヌギの木になってくれていたら、嬉しいです。どんぐり遊びで、こんな遊び方あるよとかこんなどんぐりもあるんだよというのがあれば、ていがに教えてください。

